

第2回しまね産業活性化戦略会議における主な意見

開催日時：平成19年8月23日（木）14:00～16:00
会場：テクノアークしまね大会議室

[新産業創出、産業競争力強化]

Rubyを活用した起業モデル、新事業展開への取り組みが早急に必要である。

Rubyが具体的な収益に結びつくことを考える必要がある。

ブルーオーシャン、ニッチな分野（環境、エネルギー関連分野）での産業活性化、長期的スパンでの取り組みを考えるべきである。

材料関係の研究開発は、即効性は低いが長期的に力を入れるべきである。

[既存産業の活性化、地域資源を活用した産業振興、企業誘致]

大学の研究、シーズの活用が新事業創出の土壌形成につながる。

データベースを活用した企業ニーズ、ビジネスのマッチングが現実的な産業の活性化策である。

トップの企業情報の的確な把握、情報に基づくトップの具体的な行動、それらの組織化が重要である。

[観光振興]

地域資源を活用した商品を多くつくることが観光振興の大きな流れとなる。

インターネット上での取引、電子マネーを活用した産業振興はいかがか。観光振興と結びつけることも可能である。

[産業人材育成]

地元で優秀な人材が残ること、地元への人材の供給を考えるべきであり、子供の育て方・教育を含めたその仕組みが必要である。